

令和3年度 奄美群島国立公園喜界島地域、沖永良部島地域及び与論島地域 管理運営計画検討業務

■業務の概要

奄美群島国立公園は、奄美大島、徳之島、喜界島、沖永良部島及び与論島の5島からなり、平成29年3月に我が国で34番目の国立公園として指定された。

本業務では、奄美群島5島のうち喜界島・沖永良部島・与論島において、地域の実情に即した協働型の「国立公園管理運営計画」の策定に向けて、3ヵ年にわたり、地元4町でのヒアリングや住民意見交換会、有識者や島内関係機関等で構成する各島での検討会等を実施し、計画書案のとりまとめに至った。

【奄美群島国立公園喜界島地域、沖永良部島地域及び与論島地域管理運営計画の位置づけ】

奄美群島国立公園指定書及び公園計画書策定（平成29年3月7日）

〈テーマ〉生命にぎわう亜熱帯のシマ〜森と海と島人の暮らし〜

生態系管理型

自然景観だけでなく、奄美群島の特異かつ多様な生態系を保全するため、科学的データに基づいた順応的管理を図ること

環境文化型

人と自然の関わりの中で形成されてきた風景や風土を国立公園の価値として位置づけ、将来に守りつないでいくこと

〈指定地域〉・奄美大島・徳之島
・沖永良部島・喜界島・与論島

奄美群島国立公園喜界島地域、沖永良部島地域及び与論島地域管理運営計画（※）

役割：・地域の関係者とビジョン・管理運営方針を共有し、各主体の連携を強化。
・国立公園の保護と利用に関する管理手法や具体的な取組内容を示す。
・国立公園事業や許認可指導の基本的な事項を記載し、これに沿って実施。

ビジョン

（島地域別）自然環境等の保全に関する事項

公園関係者の連携体制

管理運営方針

（島地域別）公園利用の推進に関する事項

許認可等の取扱いに関する事項

（※）奄美大島及び徳之島については、H31年度に先行策定済み。

国・地域の関係者が協働して具体的な取組を進めることを目指す

自然環境の保全

利用施設の維持管理

利用施設の整備

利用者サービスの提供

■協働型計画づくりの流れ

年度	項目	内容	
R1	既存資料調査 ヒアリング調査 (有識者・行政機関)	- 国立公園の施設状況や利用状況及び管理状況、喜界島・沖永良部島・与論島における自然や文化資源の把握 - 計画課題に関する情報収集とともに、計画作成に向けて関係行政機関の理解促進・協力要請	計画作成にかか る 情報収集 整理
	住民意見交換会 (喜界町・和泊町・知名町・与論町の計4町で開催)	- 国立公園管理運営計画の紹介・説明 - 国立公園に反映させたい島の魅力や資源、現状や課題・ビジョンについて意見交換	
R2 ～ R3	検討会 (計2回開催) 	- 有識者3名と島内関係機関等で構成する検討会を開催し、計画策定に向けて、基本的方向性の確認→計画素案の検討→計画案の項目ごとの内容を検討 - 第一回検討会後には、参加者へ計画修正案の意見照会についても紙面にて行い、計画案作成への細やかな意見反映を心掛けた - 第一回検討会は新型コロナウイルス感染対策に配慮し、オンライン会議形式を取り入れた	計画作成に向け た地元との 意見交換 認識共有
	住民説明会 (喜界町・和泊町・知名町・与論町の計4町で開催) 	- 管理運営計画の紹介、地域の自然環境の保護と利用、環境文化の維持継承をテーマにし、環境省レンジャーとのワークショップ形式での意見交換を実施 - 住民の計画全体に対する内容理解の増進を図るとともに、国立公園への期待や計画に対する意見、自分でもできそうな活動等についてディスカッション	
			行政計画への 落とし込み
			計画に対する 地元の 理解増進 意見交換



隆起する段丘（喜界島・テーブルバンタより）



サンゴ礁（喜界島）

令和3年度第二回
検討会で最終調整、
管理運営計画（案）の
とりまとめ

パブリック
コメント

管理運営
計画策定

（環境省）

■検討会で挙がった主な意見や要望と計画への反映（概要）

■3島・各計画区の特徴について

- ・隆起サンゴ礁地形という3島の共通性はあるが、喜界島は崖下湧水、沖永良部島は鍾乳洞・地下水系、与論島は地下水脈・湧水といった水系の特徴や利用・文化の違いが各計画区にある。環境文化型の国立公園としてのアピールになる。

.....

⇒各計画区の概要を3島別に書き分け、特に隆起サンゴ礁地形と水系、水の利用に関する文化について3島の特徴・違いを記載した。

■管理運営計画区の設定について

- ・国立公園の区域は、陸地では限られた場所と海岸部だけに限定されてはいるが、島の魅力はそこにとどまらない。国立公園の区域だけで議論するのではなくて島全体を念頭とした計画を作ることが望ましい。

.....

⇒計画のビジョンとして、島全体を念頭に置いた計画とすることを明記し、国立公園が島それぞれの魅力をアピールするとともに、島全体の保全と利用の方針に貢献できるようにするといった内容を含めた。

■管理運営方針について

○環境文化の価値の説明

- ・環境文化の価値やその継承が大事であることについて地域住民の理解を深めていくことが必要。

.....

⇒方針に「環境文化継承支援、体験学習機会提供」「地域経済活性化やシマ持続への貢献」という項目を記載。その上で、環境文化について集落景観、地域産業と関連付けることで価値を理解してもらい、地域住民が気付くことが、固有の自然の保護と利用、地域活性化にもつながる旨を記した。

○島の自然環境と産業との関連

- ・国立公園の価値というものを現在の生活経済と関連させることができ、地元住民の愛着が湧くのではないか。

.....

⇒地域の自然の特性を活かした産業や集落景観（環境文化）が成立しており地域経済と関わりが深いこと、国立公園が付加価値を強化する役割を担い地域産業の活性化や集落の持続可能性に貢献する旨を方針に記載した。



ウミガメビューポイントから半崎を望む（沖永良部島）

■各地域の特徴と国立公園管理運営計画区の概要

【喜界島地域】

<特徴>

- 世界有数の速度で隆起している島、特に段丘地形が発達
- 隆起サンゴ礁の段丘斜面からの湧水利用と湾への集落形成。サンゴの石垣など、人の暮らしと自然とのかかわりが作った環境文化
 - 区域面積は974ha（陸域）、その36%が特別地域
 - 海岸には顕著な隆起サンゴ礁の地形
 - 特徴的な動植物オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ヒメタツナミソウ、サンゴ礁上植物群落、ガジュマルやイヌマキの大木など
 - 主な利用形態 海岸探勝（荒木海岸）、景観探勝（百之台）、文化観光（阿伝集落）、ドライブ（各所）など



百之台からの眺望



オオゴマダラ



阿伝集落の石垣



ガジュマル



【沖永良部島地域】

＜特徴＞

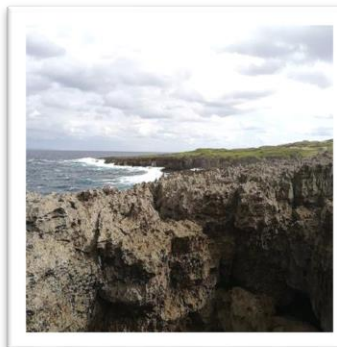
- 水に浸食された琉球石灰岩が創り出す、鍾乳洞やドリーネなどのカルスト地形、特徴的な海食崖
- 地下河川や湧水といった水源をめぐる環境文化
 - 区域面積は 633ha（陸域）、その 99%が特別地域
 - 各集落にある水汲み場として利用されてきた湧き水のある広場「ジッキョヌホー」や鍾乳洞の「暗川（くらごう）」
 - 琉球石灰岩岩盤を掘り込んで造られた掘り込み式の古墓「トゥール墓」
 - 特徴的な動植物：オカヤドカリ、アオバナハイノキなど
 - 主な利用形態：海水浴（沖泊海岸等）、景観探勝（田皆岬、フーチャ）、鍾乳洞探勝（昇竜洞）、ドライブ（各所）など



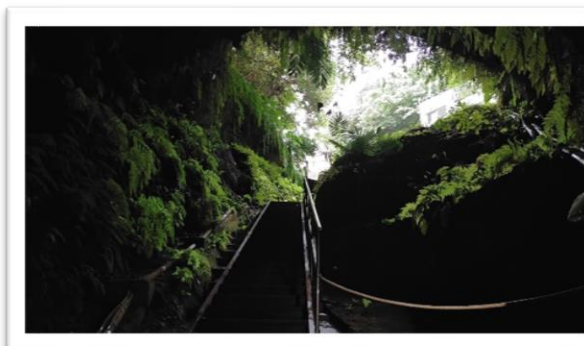
鍾乳石



ジッキョヌホー



フーチャ

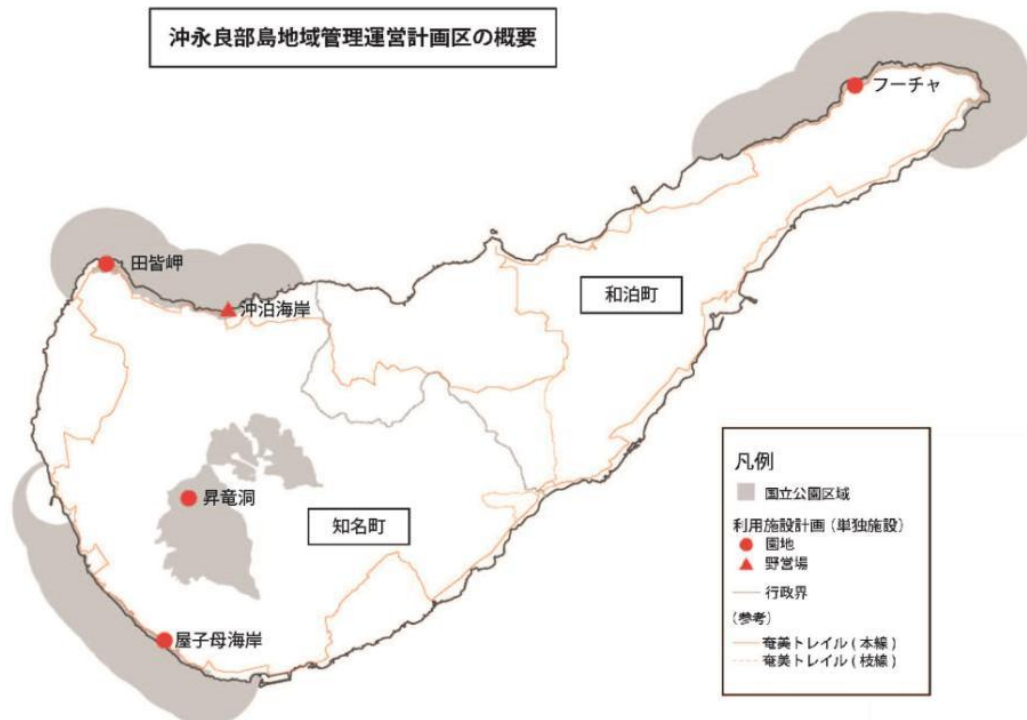


暗川(くらごう)



トゥール墓

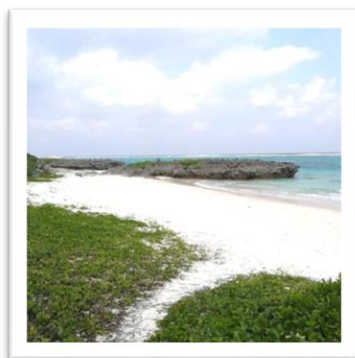
沖永良部島地域管理運営計画区の概要



【与論島地域】

<特徴>

- ・沖合約1 kmに及ぶ広大な礁湖の景観や、白く輝く砂浜
- ・石灰岩台地の隙間に貯まった地下水脈から生じた貴重な湧水やリーフの利用が育んだ環境文化
 - 区域面積は122ha（陸域）、その99%が特別地域
海域の広範囲が海域公園地区に指定
 - 湧水地である奄水（アマンジョー）や屋川（ヤゴー）の文化
 - 特徴的な動植物：オオゴマダラ、トビイシハナダイ
 - 主な利用形態：海水浴・スノーケリング（大金久海岸等）、ダイビング（茶花沖等）、カヤック（皆田海岸）、海中遊覧・グラスボート（大金久海岸）、風景探勝（大金久海岸等）など



寺崎海岸



サンガチ



子供の成長のお祝いや故人を偲ぶ集い



大金久海岸

与論島地域管理運営計画区の概要

